



## はしかを予防しましょう

菊池圏域で麻疹(はしか)患者が発生しています。麻疹は感染力の強い病気です。予防に努めましょう。

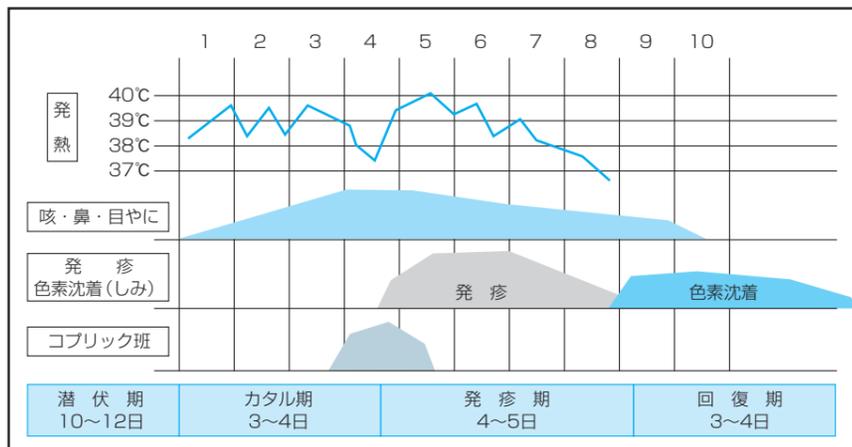
問い合わせ先  
健康づくり推進課  
健康推進班  
(西合志庁舎)  
☎242-1183

### 流行の時期

冬から春先、初夏にかけての感染症で、5月ごろピークを迎えます。

### 症状(典型的な経過をたどらない場合もあります)

2～3日の発熱とともに、せき、鼻汁、くしゃみ、目やに、目の結膜充血、まぶしさを訴えるなど、この時期の感染力が最も強いです(カタル期)。その後、いったん熱が下がり、再び熱が上がリ、麻疹特有の発疹が全身に出ます(発疹期)。その後、発熱は次第に下がり、発疹も退色し、皮膚の皮がむけ落ちます(回復期)。また、発疹の出る1～3日前にコプリック斑といって、口の内に白い斑点が多数見られるのも特徴です。



### 感染経路

- ・空気感染
- ・飛沫感染(せき・くしゃみなどで出た、だ液や分泌物により感染すること)

### 潜伏期

平均10日前後



### 予防方法

基本的には、麻疹ワクチンの接種を行なうことと感染者との接触を避けること。具体的には次の点に留意してください。

#### (1) 子どもを持つ人

- ① 麻疹ワクチンの接種の有無について母子健康手帳等で確認してください。麻疹ワクチン未接種者や麻疹にかかったことがない人は、ワクチン接種をお勧めします。ただし、表1の麻疹・風しん予防接種対象者以外は、全額自己負担での接種となります。表1の麻疹・風しん予防接種対象者は早めに接種されることをお勧めします。
- ② 毎朝、登校・登園前に自宅で体温を測り、37.5℃以上の発熱を認めた場合は、必ず理由を学校等に報告の上、できるだけ欠席してください。特に校内等で1人でも発生している

場合は、欠席し医療機関を受診してください。

#### (2) 18歳以上から20歳代・30歳代の人

- ③ 医療機関を受診する場合には、直接受診せず、あらかじめ電話で麻疹の可能性があることを伝えてから受診してください。(他の人への感染を未然に防ぐため、医療機関に知らせておく)

#### (2) 18歳以上から20歳代・30歳代の人

- 接種したワクチンの効力が十数年を経た年齢になり、麻疹免疫力が低下していることが考えられています。
- ① 自分の身の回りに麻疹にかかっている人がいる場合、毎朝、登校または出勤前に体温を測り、37.5℃以上の発熱を認めた場合は、できるだけ休暇を取ってください。また早めに医療機関を受診してください。
  - ② 麻疹ワクチン未接種者・麻疹にかかったことがない人は麻疹ワクチンの接種をお勧めします。

### 麻疹・風しん予防接種対象者

4月から予防接種法の改正により、麻疹・風しん予防接種対象にⅢ期・Ⅳ期が加わりました。早めの接種を心がけましょう。

(表1)

予防接種の種類	接種対象者	接種期間	接種医療機関
MRワクチン	I期	生後12月～24月未満	合志市委託医療機関(要予約)
	II期	平成13年4月2日生まれ～平成14年4月1日生まれまで	・大森医院 ☎248-0003 ・宮川内科医院 ☎248-2155
	III期	平成7年4月2日生まれ～平成8年4月1日生まれまで	・みやの小児科 ☎248-5800 ・いげざわこどもクリニック ☎242-6633
	IV期	平成2年4月2日生まれ～平成3年4月1日生まれまで	・成松内科医院 ☎345-5151 ・まつもとこどもクリニック ☎338-8960 ・山下胃腸科クリニック ☎345-0600

麻疹・風しんの予防接種が、中学1年生と高校3年生相当に5年間限定で実施されることになりました。

- \* 接種期間を過ぎたら、全額自己負担になります。
- \* 合志市委託医療機関以外での接種もできますので、お問い合わせください。
- \* II期～IV期の人は、幼児期に接種した麻疹ワクチン・風しんワクチンの追加接種になります。今までに接種したことのない人は、お問い合わせください。